

愛育会だより

愛育会からのお礼

愛育会会長 中島 康晴

「麻生津の皆様、いつも小学校愛育会活動にご理解・ご協力を頂き誠にありがとうございます。」
今年、学校行事に関しては、新型コロナ禍の中で、感染防止対策をとりながらの運営となりました。

今、世の中は、かつてないほどのスピードで変わっています。小学校でもICT機器を活用して、教育の質を落とさないような取り組みが行われていて、今の子供達は私たちが経験したことのないことにも対応することが求められています。

日々の生活様式も大きく変わって、さまざまな行事の中止が相次ぐ中で、子供達が元気に学校に通ってくれるだけで幸せだと感じる時もありました。

いつもどおり授業が継続できて、運動会と修学旅行についても無事に実施されました。
これは学校での感染防止対策を徹底していただいたおかげです。

「おかげさま」という言葉は、スポーツ選手などが陰で支えてくれる人や物に感謝する言葉で、同じように麻生津では支えてくれる地域の応援団がたくさんおられます。子供を持つ家庭にとってもありがたいと思っています。

これからもよろしくお願いいたします。
最後になりますが、「大きく育て麻生津の子」このフレーズは、今まででもまたこれからも小学校に残り続ける事と、早くマスクをしていない子供達の笑顔が早く戻ってくる事を願っています。



令和4年
3月発行

我が家のランドセルの未来

保護者より



我が家は、この春三度目の小学校卒業を迎えようとしています。長女が大きいランドセルを背負い麻生津小学校へと入学したのは十四年前の春の事。年数で言えば長く感じますが、実際にはあっという間でバタバタと毎日が過ぎ気がつけばもうこんな経っていたというところです。何かの機会にこうして振り返れば毎月日の流れに驚いている気がします。長い歴史の中で十四、五年と言うと非常に短い時間ではありますが、我が家の子供達が在籍していたこの期間でも麻生津小学校はすっかり寂しくなっていました。

子供達の人数が少なくなっていくのは目に見えて分かっていましたが、年々減っていく児童数に寂しい気持ちも募り、上の子供達の時は人数が多かったから賑わいがあったなあ・：と当時の同級生の保護者の方達と振り返ることの方が多かったですが、今現在在籍している子供にしてみれば学校での色々な話を聞いている上で、その少ない環境が当たり前で、学年毎がばらばらで無くない意味で全校生徒（縦割りの影響もあるのか）一体の感覚なのだと思います。

我が子が下級生の面倒を見られる日が来るのかなんて考える事も出来ませんでした。それなりに同級生みんなに助けてもらいながら頑張っている様子を先生から聞き、少人数の良さを知ることもありました。まだまだ幼い所もありますが、麻生津小学校でみんなと過ごした時間がこれから大きな力になり成長していくてくれる事を楽しみにしています。

ここ数年はコロナ禍で行事が中止になったり変更になったりで可哀想な面もありましたが、子供達はいかなる状況でも気持ちを切り替えて前を向き頑張っています。この時期であるから

こそ、強くなれた！これからも色々な事があると思いますけどどんな事も乗り越えていける力を養えていると思います。心配な事は当然山ほどありますが、これからの成長を楽しみにまたあつという間の日々を子供の側で過ごしていきたいです。

上の子供達のランドセルも役目を終えてクローゼットに眠ったまま・：いずれは誰かのお役に立てれば・：と思いつ海外への寄付等子供達と調べてはいますが、親の私が決心つかず・：もう数年、たまたに見返しては想い出に浸りたいと思います。最後に先生方、地域の皆様子供達を見守って下さり本当にありがとうございます。

六年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

一路、平安を願って

保護者より

六年生の皆さんご卒業おめでとうございます。保護者の皆さん、お疲れ様でした。
長男が入学してから麻生津小学校で十四年間お世話になりました。この間に様々なことが変わっていき戸惑うことも多々ありました。

タブレットを用いた授業や宿題をしたりクラスも複式学級となりました。コロナ禍で運動会の組体操が無くなり子供達が楽しみにしていた行事もほとんど出来なくなり、日々の学校生活にも変化が生じています。それでも子供達は楽しく通い、その時々でちゃんと適応している様子を見て頼もしく感じています。

十四年間で懇談も何十回と出席させていただき先生と話し、ほめてくれる内容ともう少し頑張りたいよと言われた内容が三人共に全く同じでした。性格も得意不得意なことも違うのに、さすが兄弟（笑）だと思いました。そして卒業を迎え願うことはいくつになっても心身ともに健康で過ごしてほしいということです。

中学へ入学してもコロナ禍で学校生活に大きな変化が生じると思いますが、柔軟に対応して慌てず、ゆっくり一歩ずつ、確実に大人への道を進んでいって下さい。

仲間、そして夢

保護者より

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。一学年九人という少ない人数で、さびしいと感じることもありましたが、元気いっぱい過ごすことが出来ました。

先生の目もよく行き届き、勉学にスポーツに励んだ六年間でしたね。

六年前、小さな体に大きなランドセル。外では大人しいうちの子が、うまく学校生活を送ることが出来るのか、とても心配したものです。

学級みんながよいお友達となり、先生方が、温かく励まし見守ってくださったおかげで、毎日楽しく通学することが出来ました。

本来であれば、最後の授業参観で、しっかりと発表する我が子の姿に、六年間の成長を再確認するところなのですが、このコロナ禍にそれなかなか残念でした。涙うるうるのはずかしい姿を子に見られず、よかったのかもしれないが。十一月末に、マラソン大会の試走の様子を見に行きました。マラソンは、苦手なうちの子が、ヘロヘロになりながら必死で走る姿に元気をもらいました。何事にもがんばる姿勢は大切です。

まだまだこれから先、多くの苦労が待っています。が、どんなにつらい事にも終わりはあります。

そして、苦労した分、喜びにも多く出会えます。楽しいこと、幸せな事を見つける事が上手な人になってもらいたいと思います。

そして、近くには、何事も分かち合えるよき友がいてくれたらいいなと思います。

これで、我が家の子供達が、順番に合計十四年間通った小学校を末っ子が単立ちます。

今後ますます児童数が減少し、小学校の存続は、難しいかもしれませんが、いつまでも地域の中心である麻生津小であって欲しいと切に願っています。



『未来を担う子供達へ』

保護者より

愛育会の役員を今年度初めてもたせていただきあつという間の一年間でした。今年度もコロナの影響でこれまでできていたことができなかったり子供たちに色々な経験をさせてあげられなかったことは本当に残念だと思います。

けれどそんな中でも子供たちは毎日笑顔で学校に通っています。

とてもうれしいことです。

それも学校、地域の皆様のおかげだと思いますありがとうございます。

コロナの影響で社会的にもなんだか暗い状況が続いています。

子供たちには、そんな状況の中でも一歩前に進もうと思う力と感染症対策で人との距離はとらないといけません、人との心の距離は近づけられるように人を思いやる豊かな心を育ててほしいと思います。

そのためには、今後とも学校、地域の力が必要だと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

卒業生の皆さんへ、ご卒業おめでとうございました。これから楽しいこともあれば、つらいこともあるでしょうけど、麻生津小学校でできた絆はずっと忘れずがんばってほしいと思います。一年間本当にありがとうございました。



挨拶や思いやりの大切さ

保護者より

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございました。入学式から過ごした六年間は、今振り返ってみるとどうでしたか。保護者の皆様におかれましても、たくさんの出来事を思い返される事でしょう。今年度、初めて愛育会役員を務めさせてもらいました。例年通りであれば、たくさんの学校行事があります。昨年引き続き今年も新型コロナウイルスの影響で中止になった行事も多くありました。役員会議の時は、子供達、特に卒業する六年生の為に少しでも行事を行う事が出来ないかと先生方や役員の皆様方と話し合いましたが、中止という決断をせざるを得ませんでした。

子供達と同じように花火大会やキャンプ、ふれあい登山等親である私自身も楽しみにしていましたので、中止になった事で役員活動を通して、子供達とのふれあいができず残念に思っています。

二月の授業参観も中止になりましたが、同じ市内にある別の小学校では、当校が予定をしていた同時期に参観が行われました。今回土曜日だったのですが、麻生津小学校も土日に年に一度でも授業参観をしていただけたら、平日に休めない方も来る事ができますので、今後ご検討していただけたらと思います。

麻生津小学校区内の地区それぞれ子供の数が少なく、今後は今よりもっと児童数が減り複式学級が多くなると思いますが、上級生は下級生のお手本になつてもらいたいと思います。下の子は、上の子をよく見えています。だから、上の子の言葉や行動をまねたりします。その為、上級生は下級生に優しく思いやりをもって接してあげてほしいと思います。

何気ない一言や行動で人の心は傷つきやすいものです。自分のことだけでなく、他の人の話にも耳を傾けられる大きく広い心を持つ人になってほしいと願います。その為にも先生方にも「挨拶」や「思いやり」の大切さを新入生を迎える前に子供達に話してあげていただけたらと思います。

